

令和元年12月定例会請願文書表

請願番号	請願第2号
件名	子育て支援施策の充実を求める請願の件
請願者	八尾市黒谷6丁目236 保育・学童保育の充実をめざす共同運動八尾実行委員会 林 憲男(外署名2,916名)
請願要旨	全文(写し)の通り
紹介議員	大野 義信、田中 裕子、杉本 春夫
付託委員会	文教
受理年月日	令和元年11月14日

2019年1月14日

八尾市議会

議長 越智 妙子 様

(請願者)

住所 八尾市黒谷6丁目236

氏名 保育・学童保育の充実をめざす

共同運動八尾実行委員会

代表 林 憲 男 氏

紹介議員

署名(または記名・押印)

別紙のとおり

子育て支援施策の充実を求める請願書

1. 請願提出の理由

2019年4月時点で保育を希望しても待機状態の児童は204人(大半は0～2歳)。この4年ほど毎年200人前後の待機状態となり今年が最悪な状態にもかかわらず、来年度の募集枠が100人以上減るといふ緊急事態。今年4月に廃止した公立施設(堤・弓削保育所等)をただちに活用(再開)し、待機状態を改善させることが求められます。

市は保育の待機状態が解消されないまま今年4月に公立保育所を減少させ、さらに残る公立保育所2か所(荘内・末広)も2年後に廃止予定です。この廃止を見直すだけで募集枠の拡大が可能です。荘内・末広保育所の廃止見直し(廃止中止もしくは延期)が求められます。

国の幼児教育・保育の無償化は、保育利用の0～2歳児の大半は無償化されず、保育利用の3歳児以降は新たに給食費が大幅徴収されるため保護者の経済負担と保育現場の事務負担が増えることになっています。そのため多くの自治体では国の無償化を補完する取り組みにより子育て支援がすすめられていることから、八尾市としても無償化拡大が求められます。

昨年、市内の就学前施設で施設職員が子どもにわいせつ行為をしたとして逮捕されました。全国でも施設職員による子どもへのわいせつ行為や虐待行為があとを絶ちません。イギリスでは性犯罪歴をチェックする制度で子どもを守る取り組みがされています。海外を含め先進事例を研究するなどし、子どもへの虐待を防止する取り組みを強めることが求められます。

市内の就学前施設が今年4月に急速休園となり、当該施設を利用していた子ども達が施設の変更を余儀なくされました。慣れ親しんだ子ども同士や職員等との関係を断ち切ることは、保育にとって大切な安定性と継続性を阻害することであり、避けなければなりません。二度と同じような事態とならないよう取り組みを強めることが求められます。

地域によって放課後児童室の整備状況がアンバランスになっており、詰め込み状態のところもあります。どの地域でも等しく1年生から6年生までの子どもの成長・発達にふさわしい施設整備と職員配置が求められます。

2010年の八尾市でのファミサポ事故をはじめ、全国でも子どもが利用する施設・事業での深刻事故があいついでおり、これら事故を未然に防ぐ取り組みが必要です。国の幼児教育・保育の無償化では、基準を下回る認可外保育施設までもが対象となることから、劣悪な施設を排除するなど、子どもの安全確保が確実にされる取り組みを強めることが求められます。

以上の趣旨からすべての子ども達の最善の利益を守るための施策の充実を求め、以下の項目についてお願いいたします。

2. 請願事項

- (1) 保育を希望しても毎年200名前後が待機状態となるのを改善するため、今年廃止した公立施設（堤・弓削保育所等）をただちに活用（再開）してください。
- (2) 保育の待機状態が解消されないままでの公立保育所（荘内・末広）の廃止を見直してください。
- (3) 幼児教育・保育の無償化の対象外となっている0～2歳児の保育料と3歳児以降の給食費を無償化してください。
- (4) 子どもに関わる施設職員による子どもへの虐待（性的虐待含む）行為が発生しないよう取り組みを強めてください。
- (5) 保育施設を利用中の子どもたちが急に施設を変更させられるなど、安定的な保育が阻害されないよう取り組みを強めてください。
- (6) 放課後児童の施設環境と職員配置を全学年の子どもの成長・発達にふさわしいものとなるよう改善してください。
- (7) 子どもが利用する施設・事業において、子どもの安全確保が確実にされるよう、取り組みを強めてください。

署名数は 2,916 名です。



2019年 11月 14日

子育て支援施策の充実を求める請願書

八尾市議会議長 様

紹介議員

大野 義信



杉本 春夫



田中 裕子



